

# メタセコイア

(土屋中学校の樹)

第2号

令和5年5月2日発行  
さいたま市立土屋中学校  
さいたま市西区土屋1766-1  
Tel 048-622-4611  
✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

<学校教育目標>

夢に向かって

～生徒には夢を 保護者には感動を 職員には技を～

教場0

～嗚呼、精鋭の中嶋教場～

校長 澤田純一

「光風（こうふう）」とは春を表す季語で、春風がきらきらと光り輝くように感じられること、そして、陽光の踊るような明るさに風にゆらぐ景色もまばゆいこと。さらに、春の到来のよろこびや希望を吹く風に託すという美しい日本語です。私はこの季節、向かう光風をつんざき、バイクであてもなく旅をすることに深い情愛を感じるものです。そして何より、バイクに乗りながら様々なことをあれこれ考えることが好きなのです。当然運転に集中しなくてはなりませんから、考えることは途切れ途切れになりますが、それでも季節を感じながらの考察は机に向かってのそれとは異なります。

そんな中、最近マイブームである、木村拓哉主演、「風間公親 教場0」が脳裏をかすめます。あの最恐の教官はいかにして誕生したのか？これがドラマの主題ですね。張り詰めた空気感そして緊張感あふれるストーリーで、思わず見入ってしまいます。それと重なるように、35年前の遠い記憶がよみがえります。それは、私が大学を卒業し警視庁警察学校に入校した時の思い出です。

警察学校ではクラスを1組2組とは言わず「〇〇教場」と教官の名前で表示します。私の教官は中嶋啓教官だったのでクラス名は「中嶋教場」となります。中嶋教官には警察官としての実務はもちろんのこと、社会人としての教養や人間としての生き方など様々なことを教えていただきました。その中から一つ皆さんにお話しします。人間には物事を他者と協力して取り組む際、次の4タイプがあります。

① はい。→やる。②ブー。→やる。③はい。→やらない。④ブー。→やらない。

①は、気持ちよく引き受けて実行する人。②は、文句を言いながら実行する人。③は、返事はよいが、実行しない人。④は、文句を言い、実行しない人。皆さんは、どのタイプですか？もちろん①であると思いますが最低でも②でなければ、他者は評価してくれません。③④では他者と信頼関係を築くことはできず相手にされないこととなります。

令和5年度が始まり、皆さんには数々の体験的行事がまっています。それを、自分の成長につなげるためにも大切にしてほしいのです。中学校とは、学問の基礎となる基本的な知識技能を習得するところ。そしてもう一つは、望ましい集団生活を過ごせるよう社会性や人間力を身につけるところです。ですから、学校行事とは、やるからには目的があるわけですね。①のように、気持ちよく引き受け、責任をもって実行していくことを心がけてください。

そして、もう一つ。私はこの35年間、中嶋教官を親父（おやじ）とよび、長きに渡りお付き合いをさせていただいています。実はとても幸せなことなのです。皆さんも、多くの先生方との出会いを大切にしてくださいね。先生方は時に厳しく接するかもしれませんが、土屋中の先生方は、日本一生徒を大切にされる方ばかりです。何年たっても、恩師と話ができる関係を築いてください。

今日の話はこれでおしまい。また、来月お会いしましょう。